

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
25年8月18日

新潟民商第78回・共済会第41回

合同定期総会 活動報告集②

婦人部の取り組みについて

婦人部 和合通子（タイル工事業）

婦人部で記帳会を始めて1年が経ちました。

昨年4月からスタートした税務相談停止命令制度に伴い三役会で「対策が必要なのでは？」と相談して開催することにしました。

少ない人数ですが毎月開催しています。領収書の整理、自主計算ノートの記帳、会計ソフトの入力など自分に合ったものを行っています。毎月参加している部員は会計ソフトを使い、収支内訳書まで作成し、支部の班会で確定申告書を完成することができ喜んでいました。

また、昨年9月には婦人部の手引きが新しくなったのを機会に学習会を開催し17名が参加しました。

参加者からは「婦人部の成り立ちがわかった。」「初心に帰ることができた。」や「女性の頼もしさに感動しました。」などの感想が寄せられました。

同様に昨年から学校給食無償化の運動にも取り組み、講師を招いて学習会を開催しました。「義務教育は無償です。」「これからは給食無償化を目指して活動を続けます。」

昨年12月には若い世代の人たちの交流を目的にホテルでランチ会を開催し13名が集まりました。子育て、商売、暮らしの事などでおおいに盛り上がり、時間が足りないくらいでその後の、「おしゃべりカフェ」の開催にもつながっています。

今年の9月はイベント盛りだくさんで15日に新発田で新潟県母親大会が行われます。9個の分科会と3カ所の見学分科会があり好きなコースで申込みできます。現地集合のほか民商からマイクロバス利用も可です。

24日は東京で業者婦人決起集会が行われます。集会では「所得税法56条」と「国保に傷病手当と出産手当を給付する」署名をもって国会議員に要請します。

数は力になります。一人でも多くの方に部員になっていただき私たちの要求が実現できるよう頑張ります。

日程

・8月20日（水）共済三役会
・8月28日（木）婦人部三役会
次週お届けの商工新聞は印刷・発送事情により休刊とします。

青年部の取り組みについて

青年部 幡本亮一（事務局）

青年部は現在44名の部員数です。

昨年の8月から今年の4月にかけて学習会を5回開催しました。学習テーマは「法人と個人の違い」、「会計ソフト使用」、「定額減税と年末調整」、「PCを使ったかんたん見積書・請求書作成」など参加した部員の要求にあわせての内容となっています。

その他には、今年1月に青年部の新年会を実施し青年部員同士の交流もはかっています。

現在の青年部員の特徴としては若さを前面に目いっぱい働いている部員、育児と仕事の両立に一生懸命な部員が多く青年部活動が後回しにされがちな部分もあり「なかなか参加できない」、「参加者がいないから開催が見送られる」といった状況であります。

この状況は、県青協の会議を通じて他の民商青年部でも同様の事態になっている事がわかっています。

県青協では業者青年アンケートを使い、青年部員の要求とは何かを掘り起こす取り組みをしています。民商青年部では3割弱の部員から回答をもらっていてほとんどの部員は「他の業者と交流を持ちたい」という内容で回答しています。

特に今年は全青協結成50年の記念の年でもあり全商連ではウエルカム企画の実施を予定しています。

また、全国業者青年経営実態アンケート2025を取り出現頻度の高い言葉を抽出してみると①消費税、②インボイスの登場回数が多く、続いて③税金、④減税、⑤補助金が多く出てきています。やはり、税金に関する学習会や補助金申請学習会の開催は青年部員にとっても効果的な集まりになると予想されます。

以上の事から他の業者との交流の場、ウエルカム企画を交え要求に沿った楽しい集まりを開催することが求められていると感じます。

今後も時代に合わせながら青年部再建を目指します。

シリーズ商売頑張る 掲載希望者随時募集中！

毎週発行の「赤粋ニュース」にあなたのことを掲載しませんか。商売のことを中心にお店のPRや民商の会員になったきっかけなど掲載します。投稿希望の場合は記事の他に写真もあわせて送付いただくようお願いします。

送り先アドレス

minsyo@gamma.ocn.ne.jp

※ 投稿する前に事務局ニュース担当まで連絡をお願いします。パソコンが使えない場合は事務局が取材に伺います。

民商共済会に加入していて本当に良かった

此の度 民商共済に
入っていたおかげで
お見舞金を受け取り
ました。
ありがとうございます。

民商 東山町下 支部

助かりました本当に有難う
ございました

民商 松浜 支部

民商共済会に入って良かったという声をご紹介します。月共済会費1000円で会員・配偶者・同居家族・従業員が加入できます。

全会員参加の助け合い共済運動のために加入をお願いします。

新潟民商青年部総会

日時 9月6日(土) 19:00

会費 2,000円

会場 梓トシ酒場 あんたが太陽

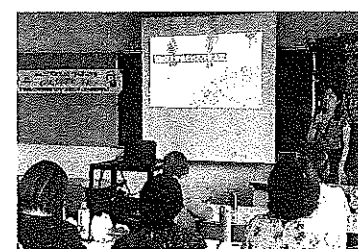
(中央区東大通1-7-30 杉ビル2F)

申込×切：9月2日(火)

ほんとに実現するの？学校給食無償化

「学校給食無償化学習会」

3日、万代市民会館で学校給食無償化学習会が開かれ約40名が参加しました。



始めに学校給食無償化を実現する新潟市民の会の朝倉共同代表が「これから世の中で弱い立場の人がますます差別されるような状況になるのではないかと心配をしている。学校給食無償化は子どもたちにとって大事なことでと考えていきたい」とあいさつ。

次に福嶋尚子さん(千葉工業大学準教授・「隠れ教育費」研究室・教育行政学者)より「学校給食無償化でどうなる？」と題して、講演がありました。福嶋准教授は、現在何らかの形で無償化を実施している自治体は全国で4割あり、子育て支援になっている。石破首相が「2026年度から無償化を実施する」と言われてから無償化実現へ向けての住民の運動が弱くなってきたが安心はできない。国は交付金という形で実施してくると思われるが使い方は自治体次第。みなさんの運動の継続が大事」と話されました。講演後、参加者から質問や感想がだされました。

最後に鈴木共同代表が「給食は教育だとあらためて思いました。今日の話は運動の力になりました」と閉会のあいさつで終了しました。